

子ども向け事業はP 28 の子ども通信をご覧ください



# ワクワクが湧く湧く 心豊かな時間を絵本で

図書館では子ども向けの事業を数多く行っています。赤ちゃんのときから本に触れる「ブックスタート」や20年以上続く「ぐりぐらタイム」などその取り組みをご紹介します。



図書館が開館した当初からはじまった「ぐりぐらタイム」。ぬいぐるみは、20年以上大事に使われています。子どもたちに本への入口を入りやすくするため、可愛いキャラクターということで「ぐりとぐら」を選びました。(使用許可済)

## 10分の絵本タイムが 親子の心の絆を深める

乳幼児期は、ことばや心が育つ、かけがえのない時期。特に、好奇心旺盛で感受性豊かな2〜6歳は、人生の中で最も絵本やお話を楽しむことができる「読み聞かせ黄金期」といわれており、本が好きになる「根っこ」が育ちます。短い時間で心のスキンスツプがとれる「読み聞かせ」は、忙しい親にこそ、おすすめしたいもの。子どもと向き合う時間が減ってしまったという家庭に、子どもと一緒に絵本を楽しむことが大切です。たった10分の絵本タイムが、親子の心の絆を深め、「絵本を読んでもあげるうちに、子どもの心の成長がみえるようになった」という、お父さん、お母さんがたくさんいます。

## 親子で絵本を介して 心豊かな時間を

町では、親子で絵本を介して心豊かな時間を作ってもらうため、赤ちゃんから支援しています。「ブックスタート(4か月児)」から始まり、「ブックスタートプラス(2歳6か月児)」、「ぐりぐらタイム(6か月児〜小学生)」、としゃかんくらぶ(小学生対象)、さらに、おはなし会など子どもの発達段階に応じた読書活動事業を実施しています。

特に町独自の事業として人気が高いのが「ぐりぐらタイム」。皆さんには「ぐりとぐら」(作・中川李枝子、絵・大村百合子、福音館書店)の絵本を子どものころ読んでもらったり、読んであげたことが一度はあるのではないのでしょうか。かわいらしく親しみやすい、ぐりとぐらの人形を使い、子どもたちと絵本・紙芝居・手遊びをして楽しみ、最後に絵本の紹介をします。さまざまな本に出会い、聞く力を育てる場として20年以上愛され、多くの人が参加しています。

## ワクワクが湧く湧く ぐりぐらタイム

子どもたちは、初めて目にする絵本や紙芝居に目を輝かせ、次のページやシーンに早くなれないかと「ワクワク」し、「ほんとのであい」を、ぐりぐらタイムで体験することが出来ます。一度この部屋をのぞいてみませんか。

ぐりぐらタイムで  
お気に入りの絵本を見つけたよ!



ぐりぐらタイムへようこそ。本の読み聞かせ以外にも、紙芝居、手遊びをして楽しむことができるんだよ。おすすめの本の紹介もするから遊びに来てね。



ブックスタートプラス(2歳6か月)はこの2冊から好きなものを一冊



どれも楽しそうな本で  
まよっちゃうな。



ブックスタート(4か月児)はこの2冊から好きなものを一冊

